

■絵金(絵師金蔵) 狩野探幽の偽絵作ったと絵師職氏姓を剥奪され、流転の末、独自のエログロ作風芝居絵を開拓。

えきん

高田屋拿捕・1812= 土佐国高知城下新市町で、髪結い(剃)の子に生まれる。

下町の庶民的世界に育ちながら、早くから画才に秀で、

水野忠成老中1818= 6歳 :

蝦夷地直轄終1821= 9歳 :

狩野派の城絵師池添楊斎に師事すると、たちまち頭角を現し、

シ一本朴追放・1829=17歳 : 師の推薦で、藩主の娘の出府に際し、駕籠かきの名目で供となり、藩邸の計らいで、江戸城御絵師駿河台狩野家5世洞白に入門が許され、別に江戸土佐藩御用絵師前村洞和に私淑して、ひたすら本格的狩野派の修得に努め、

富籤流行・・1830=18歳 :
鼠小僧磔・・1832=20歳 : *通常10年のところわずか3年で、免許皆伝を得、師の一字を与えられ洞意と号し、帰藩。両親が息子のためにと仕事に励んで蓄えた金で、藩医林家の株を買取って、武士に準じ、林洞意と名乗って、家老桐間家のお抱え絵師となるが、特異な性格と才能への妬みから反感を買い、

滑稽+人情本 1835=23歳 : *狩野探幽の絵を模写したものをかかってに持出した画商が豪商に売ったものを、城下きっての鑑定家に見破られて表沙汰となり、“偽絵事件”“偽絵描き”として、絵師の座を解かれ、狩野派を破門され、氏号も召し上げ、作品は全て焼却、額に科人の焼印を押された上、城下追放される。

大塩平八郎乱1837=25歳 :

蚕社の獄・・1839=27歳 :

以後、弘瀬柳栄と名乗って、おそらく上方芝居の小屋者として、書割・看板など描き、端役代役などして暮らすうち、

天保改革始・1841=29歳 : この年始まる天保の改革の奢侈禁止令で三都の芝居興行が一切禁止になると、地方の諸藩が苦しい財政をまかなうため、芝居を認めるところが始まる、

阿部正弘首座1845=33歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1848=36歳 :

ペリー来航・1853=41歳 :

蕃書調所・・1857=45歳 :

桜田門外変・1860=48歳 :

土佐でも長宗我部遺臣をルーツとして反山内の気風を持ち、廻船問屋はじめ豪商集まる香美郡赤岡で本格的興行が行われるようになり、

薩長同盟・・1866=54歳 : この頃、*その旦那衆の一人宮谷家に伯母が嫁いだことから、赤岡に定住し、芝居絵大屏風を皮切りに、多くの傑作を描いて行く。神社の祭礼時には、作品が展示される。

明治維新・・1868=56歳 :

戊辰戦争終・1869=57歳 : この頃、高知蓮池に住み、町医者株を買って弘瀬姓を名乗り雀七と改名。老妻・嗣子一家と生活。

明治6年政変 1873=61歳 : *中風となり右手がきかなくなっても、左手で弟子らを嘆じさせるほどの技量を見せ、最後まで、人々の求めに応じて、絵を描き続けて、

初の民間工場1875=63歳 :

三つの内乱・1876=64歳 : 没した。